

東堀区社会福祉協議会のメイン事業である「ふれあい弁当の配食（年 3 回）」と「ふれあい昼食会（年 2 回）」は、多くの方々のご協力により実施されております。

各町内担当の民生児童委員
さんに、対象者を上げて戴
きます。
※実施日に満 75 才以上の
一人暮らし者など

対象者の
リストを作成

各町内の福祉推進員さんに、
対象者から弁当の配食または
昼食会への出席の希望を
調べて戴きます。

希望者の
一覧表を作成



【5月実施の福祉三者懇談会でのふれあい事業の説明会風景】
・事業の流れ（年間計画）と、実施内容・方法などの説明

【柴宮ボランティア部との打ち合わせ】

- ・作成する弁当の数、予算額、日程の説明
- ・献立・食材調達・調理と支援者選出を依頼



【柴宮ボランティア部の皆さんによる調理】

献立
材料表



食材調達



下拵え・調理

【各町内の福祉推進員さんが届けます】



柴宮館で受け取り

弁当配食の例



弁当箱へ詰める



包装



各ご家庭へ

【雑感】 「助け合い・支え合いで福祉の街づくり」を目指す区社会福祉事業について、予算上や実務をボランティア支援に仰ぐことから、具体的活動では種々の課題が出て悩みます。個別対応は無理で、年数回の一律内容では皆が喜んでくれるか。お世話とお節介との線引き。対象者は、家庭での自助がままならないであろう、一人暮らしの高齢者や高齢二人暮らし家庭に絞っています。さらに昼食会では集合場所まで自力で出向けられる方に限らせています。出歩くことが難しく、本当に寂しい思いをされている方に「一時でも楽しい機会を」の活動が出来ないのが現状です。対象者は約 180 名強で、弁当配食は 8 割近いですが、昼食会の柴宮館は 54 名（約 30%）、山王閣は 41 名（約 22%）。不参加理由は個々に違うと思いますが、この参加率は少ないのか或いは妥当なのか、どう捉えればいいでしょうか。